

古きよき芸能を受け継いで

湧水町立上場小学校

PTA会長

今村誠

宝物を次世代へ継承していきます。

本校区である上場地区は、湧水町の南部に位置し、栗野岳の麓にあり、標高240メートルにあり、北西からの季節風の影響で、冬は厳しい寒さに見舞われますが、豊かな自然に囲まれた風光明媚な場所です。校区の近くには、国の天然記念物である「ノハナシヨウブ」が自生する三日月池があり、椋鳩十の作品で5年生国語科教材「大造じいさんとファン」の舞台にもなっています。また、茶、ねぎ、甘藷、椎茸等の栽培が盛んです。さらに、畜産にも適しており、仔牛の生産や肥育等も行われています。

わが校区の宝物は、佃集落の「鎌ん手踊り」、水窪集落の「建築踊り」、

別府集落の「棒踊り」と三つも伝統芸能があることです。本校児童は、体育の授業で地域の方から指導していただき、毎年一つずつ、上場小学校・地区合同運動会で発表しています。この体験を通して地域のよさを知るとともに郷土を愛する心を持ち、このよき伝統を後世に伝えていこうとする態度を育む機会となっています。先人たちの思いや願いが、これからも子供たちに受け継がれていくものと信じています。

ここ二年間は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、合同運動会が実施できずに、伝統芸能の伝承活動も実施できませんでした。しかし、来年度は必ず実現させ、わが校区の



鎌ん手踊りを披露する子供たち